

## 日本ユニシス、Kudan 先進人工知覚技術の「ビジネス・スケーリング・パートナー」として協業に合意 ～MaaS/自動運転や空間制御などの巨大市場に向けた 新規サービス/ソリューション分野での取り組みを加速～

日本ユニシスは、Kudan 株式会社（以下、Kudan）と「ビジネス・スケーリング・パートナー」となり、空間・物体認識ソフトウェア技術 SLAM<sup>(注1)</sup> や LiDAR<sup>(注2)</sup> などを用いた MaaS（Mobility as a Service）、自動運転や空間制御などの巨大市場に向けたサービスやソリューション創出の加速を目指し、2019年8月から協業を開始します。

### 【背景と概要】

昨今、MaaS/自動運転やロボティクス、AR/VR/MR など多様な位置認識や空間制御に関連する市場は急速に巨大化しつつあり、SLAM など基盤となる技術を、市場ニーズに合わせて迅速にサービスやソリューション化し、提供していくことが求められています。これに対し、Kudan が有する超高速/超高精度の人工知覚技術、独自の「マシン・マップ・プラットフォーム」<sup>(注3)</sup> と、日本ユニシスが有する金融・製造・流通・医療・社会公共など、幅広い分野での豊富な業務知識・顧客基盤・事業開発力との相乗的なパートナーシップによって、全く新しいサービスやソリューションを創造し、従来のアプローチでは解決できなかった社会課題の解決を可能にします。

現在、デジタルトランスフォーメーションの代表ともいえる「MaaS 分野」においては、日本ユニシスのモビリティサービスプラットフォーム「smart oasis<sup>®</sup>」が導入実績を増やしており、カーシェアリングシステムとして JR 東日本グループの JR 東日本レンタリースに「smart oasis for Carsharing」の提供も開始しています。また大津市、京阪バスとは、大津市が目指す、持続可能なまちづくりの実現に向け3者で連携し、モビリティと地域の経済活動をつなぐ MaaS の実用化を推進することに合意しています。これら MaaS や IoT における中核領域の「空間制御」の実用化において、最も有望とされる「人工知覚技術」のパイオニアであり、機械知能の処理に最適化されたマシン・マップの生成と利活用を可能とする「マシン・マップ・プラットフォーム」を提供する Kudan が、日本ユニシスと連携することで、日本ユニシスの MaaS や IoT を中心とした取り組みを加速させ、これら巨大市場への迅速なサービス開発・提供を実現します。

### 【ビジネス・スケーリング・パートナーとは】

Kudan が有する「人工知覚技術」は、位置認識や空間制御において広範囲な技術やソリューションに対して柔軟に応用される基盤技術であり、Kudan はそれらの深層の基盤技術（DeepTech）の開発に注力しながら、各層のグローバル有力パートナーと連携して市場開拓を進めています。日本ユニシスはまず国内市場において、Kudan の保有する DeepTech をスピーディに市場に投入し、そのビジネススケールの拡大を図るための戦略的パートナーとして、実証実験から商用化までを協業的に進め、さらにそれらのグローバル展開まで視野に入れた取り組みを進めます。

以上

## 【日本ユニシス株式会社について】

日本ユニシスグループは、60 年以上にわたりシステムインテグレーターとして顧客課題を解決し、社会や産業を支えるシステムを構築してきました。この経験と実績をバックボーンに、業種・業態の垣根を越えさまざまな企業をつなぐビジネスエコシステムの中核となり、顧客・パートナーと共に、社会を豊かにする新しい価値の創造と社会課題の解決に取り組んでいます。

詳細情報：<https://www.unisys.co.jp/>

## 【Kudan 株式会社について】

Kudan は機械（コンピュータやロボット）の「眼」に相当する人工知覚（AP）のアルゴリズムを専門とする Deep Tech の研究開発企業です。人工知覚（AP）は、機械の「脳」に相当する人工知能（AI）と対をなして相互補完する Deep Tech です。現在、Deep Tech に特化したマイルストーンモデルに基づいた事業展開を推進しており、人工知覚（AP）技術に加えて、人工知能（AI）や IoT（Internet of Things）との技術融合に向けた研究開発を行っています。

詳細情報：<https://www.kudan.io/?lang=ja>

### 注 1 : SLAM (Simultaneous Localization and Mapping)

コンピューターが現実環境における自己位置推定と 3 次元立体地図作成を同時に行う技術

### 注 2 : LiDAR (Light Detection and Ranging)

光を用いたリモートセンシング技術の一つで、パルス状に発光するレーザー照射に対する散乱光を測定し、遠距離にある対象までの距離やその対象の性質を分析するもの

### 注 3 : マシン・マップ・プラットフォーム

人間の理解する言語や色彩や形状の認識データではなく、機械知能に最適化したデータ形式を持つマシン・マップの生成と利活用を可能とする様々な機能を提供するプラットフォーム

## ■ 関連リンク

電気自動車（EV）充電インフラシステムサービス <https://smartoasis.unisys.co.jp/>

2019 年 1 月 31 日付ニュースリリース

日本ユニシス JR 東日本グループの JR 東日本レンタリースにカーシェアリングシステム「smart oasis for Carsharing」を提供～自動車メーカーに続き交通サービス事業者に MaaS 基盤の提供を拡大～

[https://www.unisys.co.jp/news/nr\\_190131\\_smartoasicarsharing.pdf](https://www.unisys.co.jp/news/nr_190131_smartoasicarsharing.pdf)

2019 年 7 月 4 日付ニュースリリース

大津市、京阪バス、日本ユニシス

「持続可能なまちづくり」の実現に向けた MaaS 推進協定を締結

[https://www.unisys.co.jp/news/nr\\_190704\\_maas.pdf](https://www.unisys.co.jp/news/nr_190704_maas.pdf)

※smart oasis は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

[https://www.unisys.co.jp/newsrelease\\_contact/](https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/)